第１学年○組　道徳指導案（略案）

　　　　　　平成２８年　　月　　日　　曜日　第　時

１　資料名，内容項目　　　たびに出て　Ｂ―（８）礼儀

２　議論し，考えるための指導上の工夫

　★導入で，日常生活でのあいさつの場面を思い出させ，本時で考えていくテーマについてつかませることで，議論し，考えようとする意欲を引き出す。

　★補助発問を通して，「あいさつのあるしま」と「あいさつのないしま」を対比するようにさせ，考えを深めさせる。

　★ペアトークの際に，机間指導を通して，児童の発言に教師が共感したり投げ返したりして，議論を促し，考えを深めさせる。

３　本時のねらい

　○自分も相手も気持ちよく過ごせるよう，あいさつの大切さを理解し，明るく接しようとする態度を育てる。

４　本時の学習過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動 | 時間 | 議論し，考えるための指導上の工夫 |
| 導入 | １　日常のあいさつにはどんなものがあるか考える。　・おはよう　・ありがとう　・いただきます　 | ５ | ★導入で，日常生活でのあいさつの場面を思い出させ，本時で考えていくテーマについてつかませることで，議論し，考えようとする意欲を引き出す。 |
| 展開 | ２　本資料を読んで話し合う。（１）たびにでて，きづいたことはなんだろう。・あいさつが元気にできる。 ・あいさつなんてめんどう。　・みんな笑顔でくらしている。（２）けいたは木の上でどんなことを「じっと考えた」のだろう。　　　　　　　　　　　　 ・何だか寂しい。　・この島の子は笑わない。・あいさつじまは笑顔だった。 | 40 | ★補助発問を通して，「あいさつのあるしま」と「あいさつのないしま」を対比するようにさせ，考えを深めさせる。★ペアトークの際に，机間指導を通して，児童の発言に教師が共感したり投げ返したりして，議論を促し，考えを深めさせる。 |
| 終末 | ３　けいたへの手紙を書く。 | 45 |  |